## レジメン名：ビロイ+mFOLFOX6（5-FU+l-LV+L-OHP）療法　胃がん

催吐リスク：高度

処方：1 クール　2 週間

＜点滴＞　末梢静脈内注射

Day1

① アロキシ注　0.75ｍｇ
デカドロン注　9.9ｍｇ
ポララミン注　5ｍｇ
生食　100mL　30 分

② 生食　50mL　フラッシュ用　５分くらい

③ ビロイ点滴静注　800mg/㎡（2 クール目以降は 400mg/㎡）
注射用水（ビロイ溶解用 1V あたり 5mL）
生理食塩水（ビロイの溶解濃度が 2mg/mL になるよう設定）
1 ｸｰﾙ目：50mL/hr→100mL/hr→200mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
2 ｸｰﾙ目以降：25mL/hr→50mL/hr→100mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
※インラインフィルター必要・調製後 12 時間以内に投与終了する。
※副作用発現時、投与中断する。
※悪心・嘔吐の場合、減速して投与再開可。

④ 生食　50mL　フラッシュ用　５分くらい

⑤ ５%ブドウ糖　250mL
オキサリプラチン(ｴﾙﾌﾟﾗｯﾄ)　85mg/㎡　２時間

⑥ 生食　250mL
レボホリナート　200mg/㎡　２時間　側管ｏｒルート２同時投与

⑦ 生食　50mL
5-FU　400mg/㎡　側管から全開で（5 分ぐらい）

⑧ 生食　mL＊
5-FU　2400mg/㎡

46 時間（インフューザーポンプ）
＊インフューザーポンプの容量に合せて必要量の生食を加える

⑨ 生食　20mL1 本　抜針用

＜点滴＞ V ポート静脈内抗癌剤持続注入
Day1
① 生食　20mL　1 本　穿刺用

② アロキシ注　0.75ｍｇ
デカドロン注　9.9ｍｇ
ポララミン注　5ｍｇ
生食　100mL　30 分

③ 生食　50mL　フラッシュ用　５分くらい

④ ビロイ点滴静注　800mg/㎡（2 クール目以降は 400mg/㎡）
注射用水（ビロイ溶解用 1V あたり 5mL）
生理食塩水（ビロイの溶解濃度が 2mg/mL になるよう設定）
1 ｸｰﾙ目：50mL/hr→100mL/hr→200mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
2 ｸｰﾙ目以降：25mL/hr→50mL/hr→100mL/hr（30 分おきに速度を上げる）
※インラインフィルター必要・調製後 12 時間以内に投与終了する。
※副作用発現時、投与中断する。
※悪心・嘔吐の場合、減速して投与再開可。

⑤ 生食　50mL　フラッシュ用　５分くらい

⑥ ５%ブドウ糖　250mL
オキサリプラチン(ｴﾙﾌﾟﾗｯﾄ)　85mg/㎡　２時間

⑦ 生食　250mL
レボホリナート　200mg/㎡　２時間　側管ｏｒルート２同時投与

⑧ 生食　50mL
5-FU　400mg/㎡　側管から全開で（5 分ぐらい）

⑨ 生食　　mL＊
5-FU　　2400mg/㎡
46 時間（インフューザーポンプ）
＊インフューザーポンプの容量に合せて必要量の生食を加える

⑩ 生食　　20mL1 本　　抜針用

〈内服〉

Day1

① アプレピタント(ｲﾒﾝﾄﾞ)　　125mg　　抗がん剤投与 60-90 分前

Day2･3

② アプレピタント(ｲﾒﾝﾄﾞ)　　80mg　　分１　朝

③ デキサメタゾン（ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ）　8mg　　分２　朝昼